

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-2-1		事業名	児童家庭支援センター事業の拡充
担当	子)児童福祉総合センター相談判定課 成田 622-8630			
事業内容	全体計画（当初）		<年度別の事業内容>	
	児童相談所と連携し、児童虐待、非行、保護者の子育て不安など、複雑多様化する児童問題を扱う地域に根ざした児童家庭支援センター（24時間対応）の運営費を補助する。		児童家庭支援センターの運営費を補助。 16年度 興正こども家庭支援センター 17年度 興正こども家庭支援センター、羊ヶ丘児童家庭支援センター 18年度 興正こども家庭支援センター、羊ヶ丘児童家庭支援センター	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	児童家庭支援センターの運営費を補助。 1 興正こども家庭支援センター (1)所在地 北区新琴似4条9丁目 (2)経営主体 社会福祉法人常徳会		児童家庭支援センターの運営費を補助。 1 興正こども家庭支援センター (1)所在地 北区新琴似4条9丁目 (2)経営主体 社会福祉法人常徳会 2 羊ヶ丘児童家庭支援センター (1)所在地 豊平区月寒東1条17丁目 (2)経営主体 社会福祉法人羊ヶ丘養護園	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	児童家庭支援センターの運営費を補助。 1 興正こども家庭支援センター (1)所在地 北区新琴似4条9丁目 (2)経営主体 社会福祉法人常徳会 2 羊ヶ丘児童家庭支援センター (1)所在地 豊平区月寒東1条17丁目 (2)経営主体 社会福祉法人羊ヶ丘養護園		18年度は、興正こども家庭支援センターで2,269件、羊ヶ丘児童家庭支援センターで2,181件の相談があった。このうち、児童相談所と連携して、問題の早期対応を図ったものは61件あった。	
	課題			
	市内に2カ所のための、地域的なアンバランスと共に、増加する一方の相談に十分に対応できない。			
19年度以降の方向性・事業の予定				
市内2カ所の児童家庭支援センターの、18年度の相談件数は4,450件であり、前年比1.58倍となっている。件数では1,629件の増加となり、この増加分だけでも、17年度の1カ所分の実績を上回っている状況である。急増している相談に対応するために、20年度、21年度にそれぞれ1カ所ずつ整備をする。				

